

令和7年度 消防本部 運営方針

1 組織目標

(1) 複雑多様化するあらゆる災害に対応する消防体制を強化します。

市民が安全・安心で暮らしやすさを感じるウェルビーイング（生活が持続的に満たされた良い状態）の向上を目指すため、消防・救急体制の充実強化を推進します。

そのため、既存の組織体制を見直すとともに、消防本部の幹となる基本計画を打ち立て、全職員が同じ目標に向かって効率的に業務及び任務にあたることで、消防力の強化を図り、著しく変化する社会情勢に柔軟に対応し、市民の安全・安心サービスの更なる向上を図ります。

また、警防本部の運用強化及び受援体制を確立するとともに、消防団及び自主防災組織の活性化により地域防災力の充実強化を推進します。

(2) 時代の変化に即応できる消防人を育成します。

市民から信頼され、持続可能な魅力ある消防組織とするため、教育体制を強化し、風通しが良くハラスメントのない職場風土の醸成を図り、強靱で時代の変化に即応できる消防人の育成を推進します。

(3) 市民の信頼と期待に応える消防の魅力発信を強化します。

市民に開かれた新しい消防署を前面に押し出すとともに、SNS等を活用して春日井市消防本部の魅力を発信し、消防のイメージアップを図ります。

また、消防の魅力を広く発信することで、将来の春日井消防を担う新たな人材確保につなげます。

(4) 市民の利便性に配慮した火災予防対策を強化します。

高齢者世帯への住宅用火災警報器の取付け支援をはじめ、各種届出の電子申請、同意審査の電子化等のDXを推進することで、市民の利便性の向上を図り、火災予防対策をより身近なものとする中で、火災予防意識の向上を推進します。

2 重点施策・重点事業

(1) 業務スクラップによる事業のスリム化

消防本部の組織改正に伴い、前例踏襲化している業務等のスクラップによる事業のスリム化を図り、諸課題の解決に向けた新たな事業の展開により業務の効率化を推進します。

①組織改正に伴う業務の効率化の推進

(2) 複雑多様化する災害に対応できる体制の強化

警防本部を中心とした指揮命令系統及び受援体制を確立するとともに、消防団を中核とした地域防災力の強化を図ることで、複雑多様化する災害に対応できる体制の構築を推進します。

①消防庁舎移転整備計画の推進

②消防力・地域防災力の充実強化

③増加する救急需要への対応

④通信指令システム等の更新整備に向けた検討及び諸準備

(3) 消防業務におけるD Xの推進

市民の利便性及び業務の効率化を更に向上させるため、消防同意審査システムによる同意審査及び予防業務における各種届出の電子申請のほか、あらゆる消防業務のD Xを推進します。

①企画・広報力の充実強化

②D Xの推進

(4) 人材育成の推進

指導的立場の職員教育を推進し、職員全体のスキルを向上させるとともに、春日井市消防本部人材育成方針の見直しを図り、時代の変化に即応できる消防人の育成強化を推進します。

①臨機に対応できる人材育成の強化

②安全管理体制の充実強化

③若手職員の育成強化

(5) 高齢者に対する住宅防火対策の強化

全国的に火災による死者の約7割が高齢者であることを踏まえ、火災の逃げ遅れを防ぐために、引き続き住宅用火災警報器の普及を図るとともに、火災予防意識の向上と知識の普及啓発を推進します。

①火災予防啓発事業の推進